

正誤表

このたびは、弊社刊『人工知能プログラミングのための数学がわかる本』の記述に誤りがありました。お詫びとともに訂正させていただきます。

最終更新日：2019年12月24日

ページ	誤	正
p.150	重みを l 次元の列ベクトル W とすると	重みを $l+1$ 次元の列ベクトル W とすると
p.54	このとき、点 $(b, f(b))$ を点 $(a, f(a))$ に一致させた場合、 $a - b = 0$ となり、	このとき、点 $(b, f(b))$ を点 $(a, f(a))$ に一致させた場合、 $b - a = 0$ となり、
p.55	この直線を接線といいます。このときの a を $x =$ <small>アルファ</small> α における微分係数	この直線を接線といいます。このときの a を $x =$ <small>エー</small> a における微分係数
p.65	(解答・解説の最下段の表) $\frac{d^2g(x)}{dx^2}$	(解答・解説の最下段の表) $g(x)$

p.198	ノードへの入力値… x , 重み… w , バイアス … b , 活性化関数… σ , ノードの出力値… a	ノードへの入力値… x , 重み… w , バイアス… b , ノードの出力値… a
-------	--	--

なお、お客様より、本書で扱う Python コードの参照先について、ご質問をいただくことがございました。
 Python コードの参照先 URL は本書の p144 など、実践編の各 CHAPTER の冒頭下部に掲載しておりますが、
 こちらにも掲載させていただきます。
 本書で扱う Python コード <https://github.com/TeamAidemy/AIMathBook>